

The Japan Times [グローバル時代の就活に役立つ情報紙]

The University Times

November 2012 Vol. 24

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2012

CONTENTS

■ Visit a Global Company : グローバル企業訪問
丸紅株式会社

1 2

■ Journalist's Eye : 英字新聞記者の視点
「Nexus 7」/「原子力規制委員会」

3

■ Career Centers: キャリアセンター探訪
一橋大学

4

■ Learn About Industries: この業界を知りたい!
不動産業界

5

■ Columns: IELTS Hot News / アゴス・ジャパンに聞く
IELTS とは / 海外の気になる学部

6

■ News in English
英文記事を読んでみよう

7

■ Studying Abroad in the USA: 私の米国留学 / 読んでほしいこの3冊
米国留学記 / 書籍紹介

8

■ Study Abroad Benefits: 留学で培う3つの力
コミュニケーション力・行動力・適応力

9

■ University's Challenge : 国際交流に取り組む大学
横浜国立大学

10

■ IELTS
ライティングテストのコツ

11

■ Look Around the World : 世界の名所を知ろう
シンガポール共和国

12

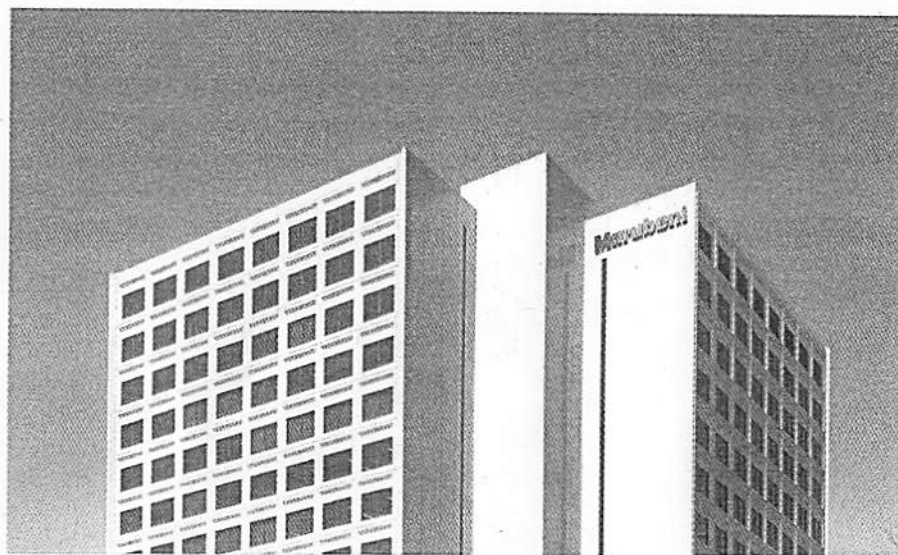
Visit a Global Company : グローバル企業訪問

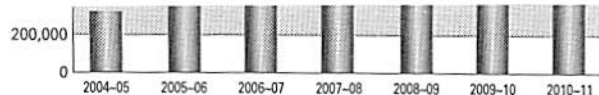
世界の動きを読みながら 先を見据える力が武器に

Vol.14 丸紅株式会社

Marubeni

トレードと事業投資のシナジーで、世界を相手にしながら飛躍的な成長を遂げる丸紅。求められるのは、グローバル業





アゴス・ジャパンに聞く

海外の気になる学部



by 株式会社アゴス・ジャパン
後藤道代

少人数のディスカッションが重要

最近、日本でも注目されつつあるリベラルアーツカレッジは、1636年にアメリカで最初に設立された、後のハーバード大学となる高等教育機関に始まります。伝統と理念に基づき、少人数で質の高い教養教育を行うリベラルアーツカレッジは、1,000～2,000人の小規模大学で、大学院を持たない学部教育を主体としています。入学時に専攻を決めず、2年次後半に専攻を選択します。1、2年次は人文科学・自然科学・社会科学の3分野からそれぞれ必須単位を取得し、学問の基礎となる思考力を養うことに重点が置かれます。日本の大学の一般教養課程に似ていますが、違いはその授業のあり方です。

例えば、日本の大学の一般教養の授業は、大教室で教授が講義を行い、与えられた課題を読み、正しく理解できたかを評価する一方向のものが多いのに対して、リベラルアーツカレッジでは、1クラス10～20人の少人数制で、ディスカッションが非常に重要な学習の場となります。たった2、3人でも開講されるコースも珍しくありません。教授はディスカッションの進行役となり、生徒にトピッ

クや質問を投げかけて、多様なバックグラウンド、考えを持った生徒同士が意見を述べ合い、新しい視点に気付かせていきます。まさに、テレビで放映されて日本でも有名になった、マイケル・サンデル教授が繰り広げる「ハーバード白熱教室」の縮小クラスのようなのです。このような授業を10～20人で行うわけですから、発言せざるを得ない環境となります。発言するためにも、ディスカッションの題材として出されるリーディング課題をきちんと読んで準備しなければ、出席しても認められないこととなります。求められる準備とは、課題を単に読むのではなく、分析し、自分はどうか考えるか主張できることなのです。その発言が評価のポイントとなります。また、他の生徒の主張に対して、質問を投げかけ、クラスで活発に議論をすることで「新たなアイデアを生み出す」ことが、教育の大切な意義とされています。

こうして授業を通して鍛えられる考える力、分析する力、抽象的な事象を具現化して言葉にする力、他者の意見を聞く力は、将来どんな分野に進むにしても基盤となる能力となります。これが、リベラルアーツカレッジの教養教育が目的としているところなのです。

果が入学許可の判断の基準となっています。一般的に、大学や大学院において英語で学びたい方は、このアカデミック・モジュール

実践的な英語力を身に付けた学生が海外で活躍するためのパスポートともいえるかもしれません。

海外の教育は、日本とは制度や重要とされる観点が異なります。それぞれの文化圏や国によって、社会のしくみや価値観が異なり、それが教育にも現れているのです。このコラムでは、日本ではあまり知られていない海外の学部や授業を紹介していきます。初回は、アメリカのリベラルアーツカレッジを紹介します。

ダイナミズムを生み出す多様性

アメリカの伝統的な名門リベラルアーツカレッジは、大統領をはじめ多くの著名人を輩出しています。学部レベルで少数精鋭の教養教育を受け、大学院でアイビーリーグなど世界トップレベルの最高学府を卒業するのが、アメリカ式エリート教育なのです。日本人では、新島襄（同志社大学創立者）、津田梅子（津田塾大学創立者）、内村鑑三（キリスト教思想家）など、日本の教育に貢献した著名人がリベラルアーツカレッジで学んでいます。

伝統あるトップリベラルアーツカレッジである Williams College で、現在たった一人の日本人として在学中の佐久間美帆さん（2011年秋入学）の毎月更新されている留学レポートを右記 URL から読むことができます。授業の様子や教授からのコメントなど、留学生活について奮闘の日々が詳細に語られています。

さまざまな人種やバックグラウンドを持った学生で構成されるリベラルアーツカレッジ。多様性が大学コミュニティにダイナミズムをもたらしてくれます。これからの時代は、

既存概念にとらわれず、グローバルな環境下で、創造的に問題解決に取り組める人材がますます求められるようになるでしょう。

☆アメリカトップリベラルアーツカレッジ

- | | |
|----------------------|-----------|
| ① Williams College | マサチューセッツ州 |
| ② Amherst College | マサチューセッツ州 |
| ③ Swarthmore College | ペンシルベニア州 |
| ④ Pomona College | カリフォルニア州 |
| ⑤ Middlebury College | バーモント州 |

(U.S. News & World Report 2012 Edition より)

■佐久間美帆のリベラルアーツカレッジレポート
<http://www.agos.co.jp/news/report/sakuma/>
(iPhone アプリ 10月リリース予定)

株式会社アゴス・ジャパン

大学・大学院留学のテスト対策、出願対策の指導専門校。トップ校合格に必要な各種英語テストの攻略法および出願カウンセリング指導により、過去3年間で約2,500件以上という、圧倒的な合格実績を誇る。大学でのテスト対策講座なども行っている。

後藤 道代 (ごとう みちよ)



留学カウンセラー歴18年、アゴス・ジャパン学部留学担当、インディアナ大学教育大学院、言語教育学修士、ブリティッシュ・カウンシル公式資格取得カウンセラー